

# 情報連絡員報告

(令和6年11月期)

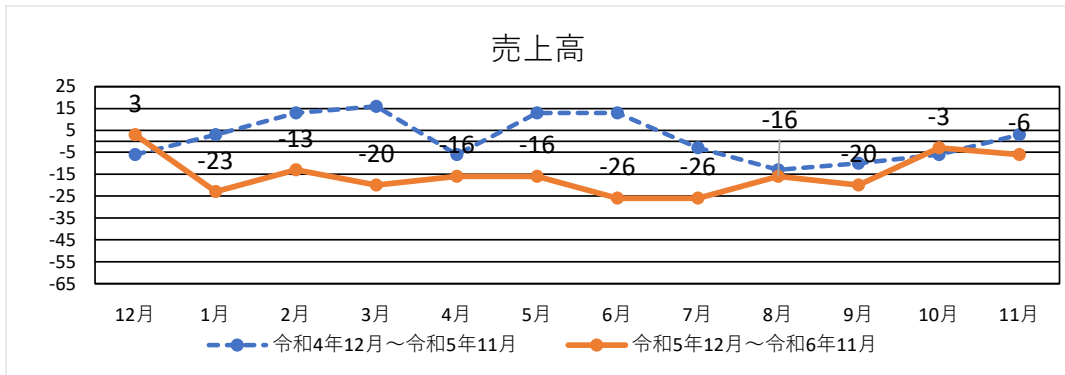
情報連絡員 30名  
回答者数 30名

## 全体概況

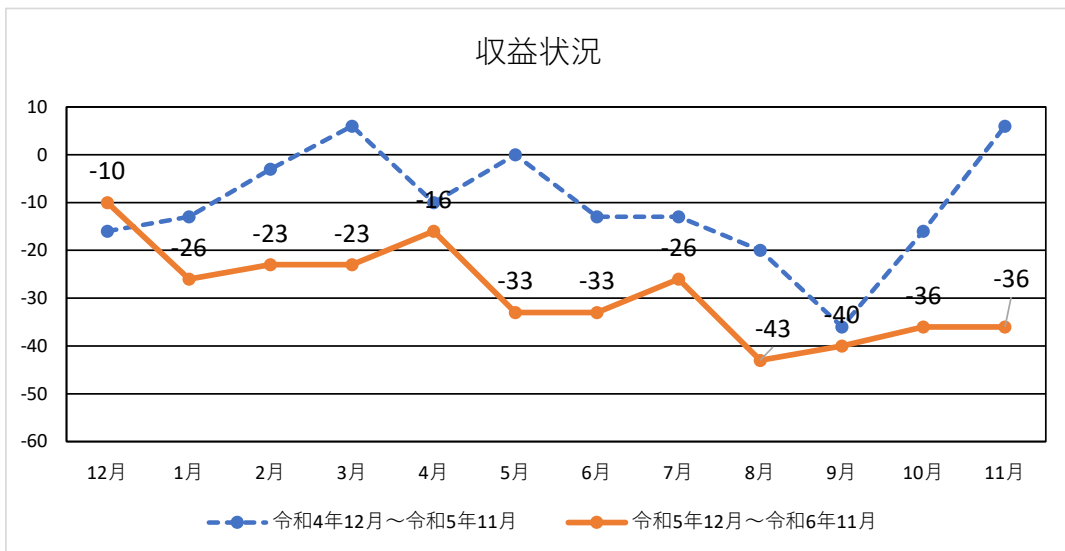
DI値は、前月と比較して、売上高は3ポイント低下、収益状況は不変、業界景況は3ポイント低下となった。

## 1 主要3指標DI値推移

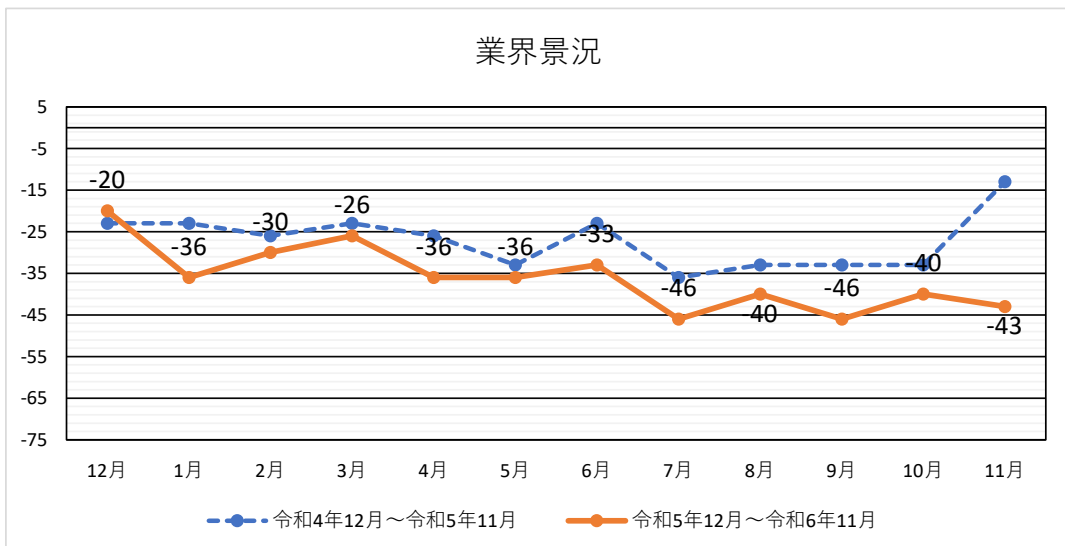
### (1) 売上高



### (2) 収益状況



### (3) 業界景況



## 2 前年同月比の業種別景気動向

(DI値)

		売上高	収益状況	業界景況
製造業	食料品	→	→	→
	木材・木製品	↓	↓	↓
	出版・印刷	↓	↓	↓
	窯業・土石	↑	→	↓
	鉄鋼・金属	→	→	→
非製造業	卸売	↑	↓	↓
	小売	→	↓	↓
	商店街	→	↓	↓
	サービス	↘	↓	→
	建設	↗	↘	→
	運輸	→	↓	↓

↑

↗

→

↘

↓

(30以上) (10~30未満) (△10~10未満) (△30~△10未満) (△30未満)

※DI値 = [(増加・好転組合数 - 減少・悪化組合数) / 調査対象組合数] × 100

※網掛けについては、特に悪化した項目

報告者名

宮崎県中小企業団体中央会

報告年月

令和6年11月

## 情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製造業	木材・木製品	製材業	火災保険や電気代など全て上がってきている。コストが上がっているが、販売価格に価格転嫁が出来ない状況である。
	木材・木製品	製材業（プレカット）	11月の生産坪数は、先月からすると減少かつ前年比では81%と相変わらずの低水準、やはり今期は、秋需といわれる繁忙期がない状況で推移することが確実となりそうである。 ただ仕事の内容としては、年度末に向けて非住宅の需要が見込まれ、全体が低迷している中でいくらかでも穴埋めになってくれることが期待できそうである。 建設関係者によると、低迷の要因となっている建築資材価格の高騰について、大きな割合となっている建材や住設は未だ値上げの話があるそうで、この状況の先行きは当面の間は見通せないとの話ぶりである。
	木材・木製品	製材業（プレカット）	9月にプレカットラインを一部入替えし、加工の正確性と加工スピードを高め、これまでの手加工が機械でほぼ出来るようになった。設備当初は不具合の調整などで稼働率が上らなかったが、10月後半からようやくスムーズに稼働している。加工物件の受注は10月になって少し上向きで、12月までは見込める状態になっている。ただ、年明けの受注はまだ不透明である。
	木材・木製品	木製品製造業	原材料、人件費、その他の経費などすべて上昇し、物価の高騰で需要も停滞。中小企業にとっては厳しい状況である。
	印刷	印刷・同関連業	需要の停滞が深刻だ。経費は上昇して仕事量が少ないので、いくら工夫をしても追いつかないのが現状である。印刷業界は厳しい。
	印刷	印刷・同関連業	年末に向けて、どの事業所でも慌ただしくなっているところだと思う。今年は郵便料金の値上げが原因だと思うが、年賀状離れが例年以上に顕著になっている。ただ、年賀状を主力商品にしているところはほぼないので、大きな影響はでないと思われる。
	窯業・土石製品	窯業・土石製品製造業	11月出荷数量昨年同月比101%、今年度累計出荷量では昨年対比104%となった。全国的な海砂不足により、来年4月からの砂代値上要請が相次いでいる。同時期のセメント値上要請もあり、原材料高騰への対策として、来年度単価値上げを決定した。
	窯業・土石製品	窯業・土石製品製造業	繰越し物件の出荷が10月末で終わり、官民とも新規大口の物件がない。これから年度末に向けて非常に不安である。今後の官公需の発注状況を注視していきたい。昨年対比の出荷は59.8%であった。
非製造	小売業	機械器具小売業	車不足は次第に解消されつつあり、在庫が確保できないという問題は多少の改善傾向にあると思われる。また、台風災害により車の修理や買い替えなど、組合員の店舗はその対応で売上が上がったと思われる。
	小売業	石油販売業	需要期である灯油の販売が暖冬により低調である。また人件費高騰や人手不足問題、需要の停滞など経営に少しづつ影響してきている。
	小売業	LPGガス小売販売業	11月合成CP価格(サウジ通告価格)は630.0 <sup>ドル/トン</sup> (前月比+15.0 <sup>ドル/トン</sup> )。10月MB価格(米国産平均価格)+(物流経費87 <sup>ドル/トン</sup> )は493 <sup>ドル/トン</sup> (前月比+66 <sup>ドル/トン</sup> )。対顧客電信売相場(10月平均)は144.55 <sup>円/ドル</sup> (前月比+6.14 <sup>円/ドル</sup> )。原油価格は中東地域の地政学的リスクを背景に上下を繰り返した。LPGガス価格については合成CP価格は微増だったが、MB価格は前月比で20%程度上昇、円安が進んだこともあり3ヶ月ぶりに上昇した。
	商店街	宮崎市	山形屋デパート開催の北海道物産展で11月はまずまずの人出であったが、常在人の販売増には繋がらなかった。
	商店街	都城市	気温が急激に下がり寒くなると客足が鈍くなるが、中心市街地で毎年恒例のイルミネーションが今年も開催されている。特定の場所限定で力を入れて開催され、夕方から夜遅くまで多くの見物客が往来している。しかし、イルミネーション付近だけで回遊し、近くの商店街までは波及効果は薄いようだ。もう少しエリアを拡大するなどの対策をしてもらえると、相乗効果が期待できるのではないかと考える。
	サービス業	観光業	秋の繁忙期となった11月、組合員全員、病気やケガなく無事に乗り切ることができて安心している。シーズンである修学旅行だけでなく、企画もののツアーも少しずつ回復の兆しをみせており、今後の増加を期待している。お客様に九州を旅して良い思い出を作っていただける様、全組合員一丸となって業務を行えたと思う。

報告者名

宮崎県中小企業団体中央会

報告年月

令和6年11月

## 情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
業	サービス業	自動車整備業	車検在庫台数は前年比微減。前月は大幅減であったので少し安心した。廃業や事業縮小を考えている組合員がいるので、それも減少の原因の一つと考えられる。
	サービス業	自動車車体整備業	部品の値上がり、塗料の値上がりなどで修理金額が上がっている。
	サービス業	自動車運転代行業	今月は、ゴルフ大会により県外からの来県者は上振れしたが、運転代行利用者は閑散期にあたり下振れした。前年度は忘年会が時期を早めて開催されていたが、今年度は年末に集中しそうだ。また、鳥フルの影響が心配される。
	建設業	管工事業	今期の公共工事(管工事)の受注状況は堅調である。
	建設業	管工事業	資材価格の高騰、運搬費エネルギー等の高止まりに加え、人手不足などにより厳しい経営を強い得られている会社もある。
	運輸業	軽貨物運送業	11月は荷動き売上げともに横ばいの状態で推移しており、小荷物宅配関係は忙しいが、2024問題に抵触する可能性が高く、組合員がしたがらないのが現状である。燃料関係は依然として高止まりで推移し、組合員の経営環境は改善する兆しが無い。毎回のことだが、組合員の高齢化、人手不足、後継者不足に苦慮しており、組合規模を縮小せざるをえないかなと考えている。
	運輸業	貨物運送業	原油価格は、アメリカ大統領が代わることにより、原油増産を推進すると思われるものの、自動車の環境規制緩和やEV購入補助金の縮小、戦略石油備蓄補充などの政策により需要を押し上げると見られていることから上昇し、それに伴い国内市場価格も小幅に上昇する見込みであり、組合員は今後の動向に不安を抱えている。